

**HOT NEWS**

令和元年(2019年) 09月07日 土曜日

[◀ 41面](#) | [42面](#) | [43面](#) | [44面](#) | [45面 ▶](#)**大船渡市**[@クリップ](#)

令和元年9月7日付 7面

## 昔ながらの遊びで交流 末崎小学校 祖父母参観で竹の工作教室 (別写真あり)



▲ 竹で作った水鉄砲で遊ぶ児童ら



大船渡市の末崎小学校(大和田典明校長、児童142人)は6日、3、4年生の祖父母参観に合わせ、竹を使った工作教室を開いた。児童が、祖父母らと協力して水鉄砲作りや竹とんぼ作りに挑戦し、昔ながらの遊びにふれながら交流を楽しんだ。

工作教室は、一般財団法人高度映像情報センター(久保田了司理事長、東京都)が協力。同法人は県から「被災者の参画による心の復興事業」の採択を受け、地域コミュニティの形成や地域振興などを図る「デジタル公民館げせん」事業を展開している。

この日は、同事業に関わる同町の工作グループ「どこ竹三鷹inまっさき」(村上正吉代表)のメンバー5人が来校し指導。3年生には水鉄砲、4年生には竹とんぼの作り方を教えた。

このうち、3年生の教室では児童と祖父母、親が、竹に穴を開けたり、竹の先端にスポンジを巻く作業などで協力。その後、完成した水鉄砲で的当てゲームを楽しんだ。

屋外での遊びの様子はドローンでも撮影。後日、ホームページや町内の文化祭などで公開される予定。

浜守琉輝君(3年)は「初めて作った水鉄砲で、みんなと遊べて楽しかった。スポンジの巻き加減が難しかった。またやりたい」とニコリ。

村上代表(75)は「家族のふれあいの場を提供できてよかった。子どもにも大人にも喜んでもらえ、うれしい」と話していた。